

## 令和3年度 全国学力学習状況調査 生活状況等分析

### 基本的な生活習慣について

#### ■生活のリズムが安定した生徒が多い

- ほぼ9割の生徒が、朝食を食べ起床時刻が決まっている。
- 就寝時間が割決まっていると100%の生徒が答えている。
- 生活のリズムが高いレベルで安定している。

#### ■ゲームやインターネットに費やす時間が増加している生徒がいる

- 自分専用のスマートフォンを高い割合で所持しているが、8割近い生徒が家族との約束を守っている。
- 9割以上の生徒が、放課後にTV、YouTubeの視聴や、インターネット、SNSの利用に時間を費やしている。

#### ■放課後の生活が充実している

- 放課後は、ほとんどの生徒が部活動や社会体育活動に参加している。

### 学習習慣について

#### 家庭学習の時間

- 計画的に家庭学習に取り組んでいる生徒は8割を超えている。7割以上の生徒が家庭学習を計画的に行えていない。
- 平日3時間を超えて学習する生徒は少なく、1時間以内と答えた生徒が4割弱おり全国・県と比較しても家庭学習の時間が不足している。
- 学校が休みの日の学習時間が少なく、約4割の生徒が2時間以内である。

#### 読書・新聞・ニュース

- 約6割が新聞をほとんど読まないと答えているが、1週間の間に4割は新聞に目を通す習慣があり全国平均よりも高い。
- 読書の時間は、一日1時間以内から10分以上と答えた生徒が8割となっており、学校での朝読書の時間が中心となっている。
- 5割強の家庭には100以上の多くの本があるようだが、学校以外での読書の習慣が定着していない。

## 学校生活・学習について

- 学校へ行くのが楽しいと答えた生徒は、6割5分おり全国平均を大きく上回っている。どちらかと言えば当てはまるを含める場9割の生徒が学校が楽しいと感じている。一方で1割の生徒はどちらかと言えば当てはまらないと答えており全国平均同等である。当てはまらないと答えた生徒はいなかった。
- いじめについて、9割5分の生徒がどんな理由があってもいけないことだと考えている。
- 学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきこと決めて取り組んでいると答える生徒が多く、学級での話し合いにより集団としても高めあっていく気風がある。
- ICT機器を使用した学習は勉強の役に立つと考える生徒が多く、意欲的を引き出すツールとして有効だと言える。
- 主体的・対話的で深い学びの実践に関わる設問では、全体的に数値が高く、教え合いや、考えを深めたり広げたりする主体的な学びが実践されている。
- 総合的な学習時間では、自ら課題を発見し、まとめたり発表する課題解決学習ができていると感じている生徒が多い。
- 道徳の授業では、自分の考えを話し合ったり積極的に表現することが苦手で、どちらかと言えば当てはまらないと答える生徒が2割いる。
- ICTを活用した授業は進んでいるが、生徒自身がICT機器を活用して学習を進めることが少ないと回答している生徒が多い。
- 学習内容が、自分に合った学習や課題ではなかった答える生徒の割合が全国平均よりも15%近く高かった。
- 新型コロナウイルスの休校期間、学習に不安を感じていた生徒が多くいた。
- 休校期間中は、家庭学習は7割の生徒が計画的に学習を進めることができたが、3割の生徒は家庭学習に自分1人では取り組みにくかった。

## 人・地域との関わりについて

- 8割5分以上の生徒が地域の行事やボランティア活動に参加していると回答。
- 全国平均を大きく上回る6割の生徒が、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがあるが、4割の生徒はあまり考えていない
- 友達やクラスメイトとの関わりは良好な生徒が多く、友達の話や意見を最後までできくと100%の生徒が答えている。

## 生徒の意識について

- 将来の夢や目標を持って、9割5分の生徒が生活している。また、自分で決めた事に対しては100%の生徒がより遂げようとしており、全国平均を大きく上回っている。
- 9割近い生徒が自分には良いところがあると感じている。
- 人が困っているとき進んで助けたり、人の役に立つ人間になりたいの項目も100%の当てはまる、どちらかと言えば当てはまると答えている。
- 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している生徒が6割以上いる一方で、約4割の生徒が難しいことに挑戦することに二の足を踏んでいる。

本年度の結果を見ると数値は全体的に高く、安定した家庭で過ごし、友達と密接に関わりながら落ち着いた学校生活を送れている。学級への安心感や、信頼度が高く、クラス替えがない中で育まれた友好的な雰囲気がかえり、その反面、競争意識や1人で課題を乗り越える力が弱い。また、新型コロナウイルスの休校期間の影響もあり、SNSやオンラインゲームに費やす時間が長く、家庭学習が充実していない。多くの生徒が将来の夢や目標を持っているが、実現させるために手立てやプロセスが描けていない。その結果、現段階では実現に向けた行動が起こせていない。